

基本刺鍼マニュアル

補法

- ①経に従って軽く取穴します。
- ⑦鍼がたわまないように留めて押し続けます。
- ⑧鍼先が目的の深さに進み、鍼先に気の来るのを感じました。
- ⑨指の間に鍼が有るのを確認できる程度に左右圧をかけます。
- ⑩抜鍼と同時に素早く鍼口を閉じます。

瀉法

- ①経に逆らって軽く取穴します。
- ⑦押す、辞める。押す、辞める。（リピート）
- ⑧抵抗が緩みました。
- ⑨鍼を鍼尖（しんせん）の方向に押し込むようにしながら加圧をかけます。
- ⑩ゆっくり抜鍼します。
- ⑪一呼吸置いた後、鍼口は閉じず押手を離します。

枯に応じた補中の瀉法

- ①経に逆らって軽く取穴します。
- ⑦2・3ミリ刺入します。
- ⑧ここで十分補います。
- ⑨幅ぜまに抜き差しします。
- ⑩抵抗が緩みました。
- ⑪押手の下面を穴所に密着させ、スーッと抜き去ります。
- ⑫鍼口は閉じません。

基本刺鍼マニュアル（問題）

補法

- ①経に（ ① ）軽く取穴します。
- ⑦鍼が（ ② ）に（ ③ ）押し続けます。
- ⑧鍼先が（ ④ ）に進み、鍼先に（ ⑤ ）を感じました。
- ⑨指の間に鍼が有るのを（ ⑥ ）に（ ⑦ ）をかけます。
- ⑩（ ⑧ ）と同時に素早く（ ⑨ ）を閉じます。

瀉法

- ①経に（ ① ）軽く取穴します。
- ⑦（ ② ）。 （ ③ ）。 ※リピート
- ⑧（ ④ ）が緩みました。
- ⑨鍼を（ ⑤ ）の方向に（ ⑥ ）にしながら（ ⑦ ）をかけます。
- ⑩ゆっくり（ ⑧ ）します。
- ⑪（ ⑨ ）置いた後、（ ⑩ ）は閉じず（ ⑪ ）を離します。

（ ① ） **補中の瀉法。**

- ①（ ② ）に逆らって軽く取穴します。
- ⑦（ ③ ）刺入します。
- ⑧ここで（ ④ ）ます。
- ⑨幅ぜまに（ ⑤ ）します。
- ⑩抵抗が（ ⑥ ）ました。
- ⑪押手の（ ⑦ ）を穴所に（ ⑧ ）させ、スーッと（ ⑨ ）ます。
- ⑫鍼口は（ ⑩ ）。